

○事業所名	株式会社オーヨー 放課後等デイサービス ノスリ1号店			
○保護者評価実施期間	2025年 7月 7日 ～ 2025年 7月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数)	20
○従業者評価実施期間	2025年 7月 7日 ～ 2025年 7月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 10月 30日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	◎SSTを支援の中心に置き、それぞれの児童に適したソーシャルスキルの習得出来る環境を整えている。 ・1日1枚SSTプリントに取り組めるようにしている。 ・毎日30分程度、集団でSSTに取り組む時間を設けている。	◎SSTプリントにおいて、必要に応じて個別でプリントを作成しており、一人一人に適した教材の準備を行っている。 ◎その日の利用児童全体を考慮し、ロールプレイやボードゲーム、その他さまざまな形で集団SSTに取り組めるように環境を整えている。	◎SST研修会等に参加し、職員のSST理解自体も深めている。
2	◎ボードゲームを主な活動とし、支援に活用している。 ・ボードゲームは様々な発達を促す機能を持ち、子どもの特性に合わせて新しいボードゲームを購入することで支援の幅を広げられている。	◎ボードゲームを活用し下記の能力の向上を図っている。 ・感覚的なボードゲームを活用し、感覚や運動機能。 ・思考系のボードゲームを活用し、論理的思考力。 ・他児童と共にボードゲームを遊ぶことで、コミュニケーション力。 ・ボードゲームの基本となる「ルールを守る」必要性を遊びを通して理解することで社会性の向上。	◎ボードゲームにあまり関心のない児童に対し、興味のある事柄を聞き取り、それに適したボードゲームを導入し環境を整えている。
3	◎学校休業日におけるイベント。 ・ボードゲーム大会や製作、外出、飲食イベントなど様々な催しを開催している。	◎利用児童の傾向を先読みし、参加児童たちが楽しめる、また支援としてねらいのあるイベントを計画している。	◎定番のイベントは繰り返し行われており、それはそれで好評ではあるものの、マンネリ化しないように新しいイベントも立案していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	◎災害や事故等発生時のマニュアル等の周知が足りていない。 ◎避難訓練等の保護者への周知が足りていない。	◎送迎時の共有を主な周知方法としてしまっていた。	◎HP上にマニュアルを公表する。 ◎避難訓練等の取り組みをおたよりに掲載し、より保護者に周知できるようにする。
2	◎保護者同士の交流会や研修会がない。	◎保護者参加型のイベントは開催しているが、保護者から「望まない」との声もあり、保護者同士の交流会や研修会は開催されていない。	◎保護者からの意見を聞き取りしつつ検討する。
3	◎地域との交流が少ない。	◎外出イベントにて公園や地域の様々な場所に遊びに行くことはあるものの、地域の児童と交流を持てる機会は少ない。 ◎地域に開かれたイベントを開催していない。	◎利用児童以外を対象とした、地域に開かれたイベントの開催を検討していきたい。